

図11.16 浮産卵床設置状況（琵琶湖）

表11.5 湖沼等における代表的な魚介類の産卵場・成育場と水深帯

分類	魚種	主に産卵場・ 成育場が湖沼・内湖・池等	主な産卵水域	産卵場												主な成育水域	成育場													
				水深m		抽水 槽	沈水植物 等	流れ、 浮き草	二枚貝	礫・石	砂・泥	備考	水深m		抽水 槽		沈水植物**	流れ、 浮き草	二枚貝	礫・石	砂・泥	備考								
				上限	下限								上限	下限																
キウリウオ科	ワカサギ	●	湖沼・河川（琵琶湖では河川）											0	海城・湖沼															
コイ科	オイカワ	●	緩流河川・湖岸	0.05	0.15									0	河川・湖	1m以下		●									0			
	タカハヤ	●	河川・湖沼											0	0	0	0												河川・湖・沼の淀み	
	ヤチウグイ	●	池沼・たまり水				●												●											
	フタカ	●	湖沼湖岸・内湖	0.3	3	●	●												●											
	ホシモロコ	●	湖沼湖岸・内湖・水路等	0.3	3	●	●	●									0	0.5		●										
	モツゴ	●	湖・内湖				●	●				0								●										
	アブラゼガイ	●	湖沼							0	0																		湖沼	
	ビロヒガイ	●	湖沼・内湖							0	0														0	0				
	ソチキ	●	湖沼・池・緩流域									0																	湖沼・池・緩流域	
	せせり	●	湖沼・内湖				●	●				0																		
	スコモロコ	●	湖沼			2	5					0															0	0		
	コイ	●	湖岸・入江・内湖・緩流域			0	2	●	●	●							0	0.5	●	●	●									
	キンブナ	●	湖沼・浅瀬						●											●										
	ニゴロブナ	●	湖岸・入江・内湖			0	2	●	●	●							0	0.5	●	●	●									
ワンゴロブナ	●	湖岸・入江			0	2	●	●	●							0	0.5	●	●	●										
ヤリタナゴ	●	湖沼・内湖								0																				
タイリクバラタナゴ	●	池沼・水路・緩流域								0																				
ニッポンバラタナゴ	●	止水域・静水域								0																				
ヒメタナゴ	●	湖沼・水路								0																				
カネヒラ	●	湖・内湖・細流								0																				
タナゴ	●	河川中下流の緩流域・湖沼								0																				
シロヒタビ	●	湖沼・内湖								0																				
アカヒシタビ	●	河川中下流域・湖沼								0																				
セボシタビ	●	小河川・水路・湖沼								0																				
ナマス科	ナマス	●	河川・湖・内湖										0																	
	ビロコオナマス	●	湖沼（ヨシ等繁茂する湖岸）	0.5	0.5								0												0					
	イトコナマス	●	湖沼								0															0				
メダ科	メダカ	●	池・水田・水路等緩流域																											
ドジョウ科	ハナドジョウ	●	湿地河川・湖沼・湧水地周辺等（水草等で豊実）				●	●																						
	ムサシドジョウ	●	湧水水源とする細流・池等（水草等で豊実）				●	●																						
ウツロイト科	ウツロイト	●	河川・湖沼の浅瀬																											
タイワンドジョウ科	カムルチー	●	緩やかな河川・湖沼（流速等で付き豊実）				●	●																						
サンフィッシュ科	オウチバシ	●	湖沼・緩流河川							0	0														0					
	ブルーギル	●	湖沼・緩流河川									0														0				
ハゼ科	ヨシノボリ（ヨシノボリ）	●	湖沼・河川中下流域等止水域（トクヤノボリ・ピロヤノボリ等）	0	5						0	0															沿岸域・湖岸域			
	ジュズカハゼ	●	河川中下流域・湖沼・池										0													0				
	イサナ	●	湖沼（琵琶湖北・湖西の湖岸）	0	9																									
カジ科	カワセミガキ	●	湖沼（琵琶湖）の流入河川								0	0															湖沖合（仔魚）			
	スジエビ	●	湖沼（琵琶湖）の流入河川	0	2		●					0															湖で浮遊生活			
テナガエビ科	テナガエビ（大体型）	●	湖沼等	0	2		●					0																		
	テナガエビ（小型型）	●	湖沼等	0	2		●					0																		
イシガイ科	イケチガイ	●	湖沼・内湖	2	10							0	0			2	10							0	0					
	カラスガイ	●	湖沼・内湖	0	10							0	0			0	10								0	0				
シジミ科	セトシジミ	●	河川・湖	2	8						0	0			2	8								0	0					
タニシ科	ナガタニシ	●	河川・湖	2	10							0	0			2	10								0	0				

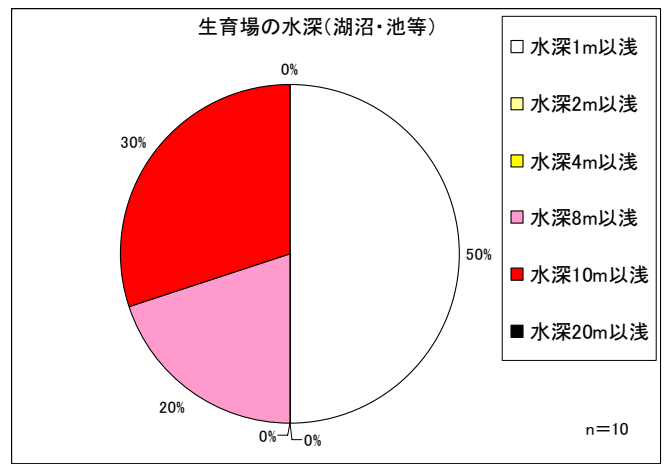
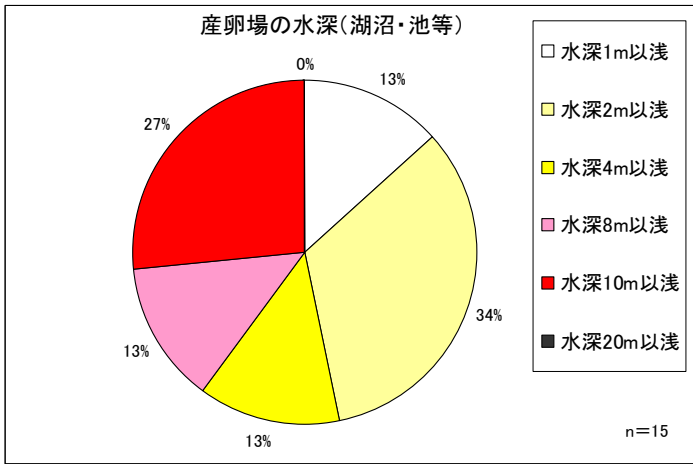
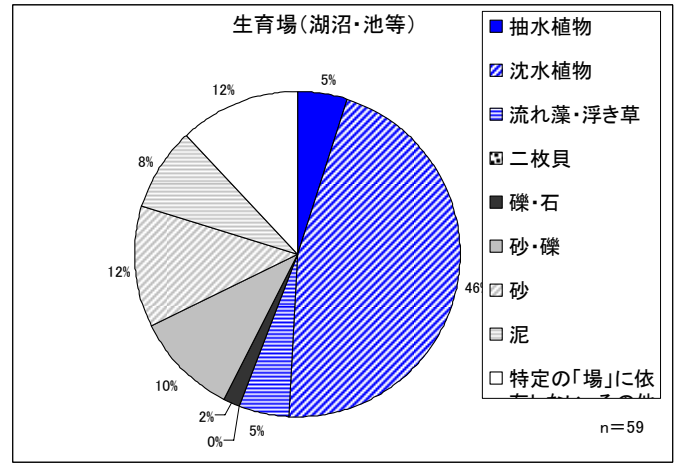
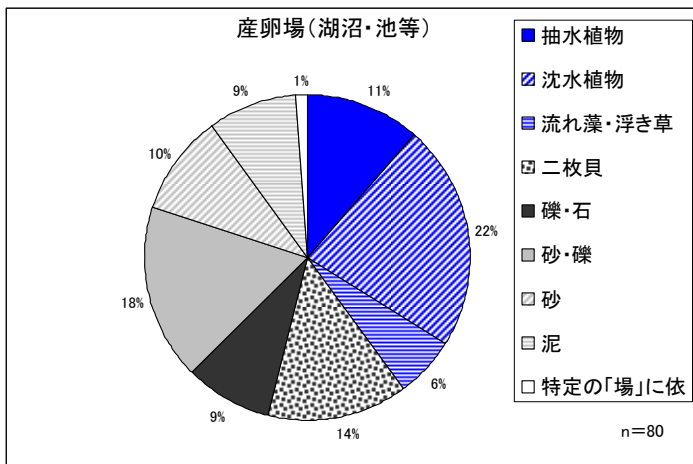


図11.17 湖沼等における代表的な魚介類の産卵場・成育場及び水深帯(琵琶湖)

表11.6 淡水性魚介類のDO条件（生長阻害とDO）

分類	種名	DO条件
キュウリウオ科	アユ	2.8～3.6mg/lで致死(1時間継続結果)。
コイ科	コイ	3.0mg/Lで摂餌低下、1.1mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.0mg/L未満で致死。
	ウグイ	3.7mg/Lで逃避、1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.3mg/Lで致死。
	オイカワ	1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)及び致死。
	タイリクバラタナゴ	1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、0.9mg/Lで致死。
	タモロコ	1.6mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.5mg/Lで致死。
	イトモロコ	3.7mg/Lで逃避、1.5mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.0mg/Lで致死。
	カマツカ	1.1mg/l未満で致死(1時間継続結果)。
	カワムツ	1.8mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、1.3 mg/Lで致死。
	ゲンゴロウブナ	1.2mg/l未満で致死(1時間継続結果)。
	ギンブナ	0.7mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、0.6mg/Lで致死。
	ワタカ	1.4mg/Lで呼吸障害(鼻上げ)、0.9mg/Lで致死。
ドジョウ科	ドジョウ	1.1mg/l未満で致死(1時間継続結果)。
テナガエビ科	テナガエビ	抱卵雌個体は2.0mg/L未満、雄個体は(一定時間曝露)3.0mg/L未満で斃死。

出典:水生生物生態資料(日本水産資源保護協会,昭和56年3月)

茨城県内水面水産試験場研究報告書41(茨城県内水面水産試験場,2008)

水質事故と魚の斃死について(石田雄次等,1990)((魚類へい死事故対応手引き(福井県生活環境課,平成5年))